

第2回学校評議員会・学校関係者評価委員会まとめ

日 時：令和7年2月18日（火） 午前10時00分から午前11時30分 於会議室

出席者：大西 雅仁 氏（東海学園大学三好キャンパス教務課）
加藤 俊春 氏（同窓会役員）
玉井 明子 氏（PTA会長）
森川しのぶ 氏（PTA副会長）

内 容 校長あいさつ

令和6年度教育活動報告

令和6年度学校評価について

中高一貫校について

令和7年度学校評議員の推薦について

意見交換

校長謝辞

委員からの意見等

- ・きめ細かいスケジュールで行事が設定できている。行事を準備するにあたり教員がどのように組織化されているか気になる。大学では学生がタブレットを各自で用意するが、高校でのタブレットの用意はどのように行っているか。また、高校での授業でのタブレットの使用状況やそれに伴う生徒のITスキルレベルに興味がある。
- ・自分が学生時代に経験していない行事が毎月あること、コロナ禍のことを思えば多くの学びの場がありよいと感じる。今年度から制服が変わり、2年後に(中高一貫校として)学校が変わっていくが、この新しい試みが成功し、変えてよかったと思える日進高となってほしい。
- ・在籍している息子は、かつて日進高に通うことを「恥ずかしい」と言っていた。それが、卒業を間近にした今、「楽しかった」と言っている。(学びの多様化学校として)中高一貫校になることはこれまでの学校の取り組みが評価されてのことと思うが、在籍する生徒は、まずはいいイメージが持てないと思う。通う生徒にとって誇りが持てる学校づくりを期待したい。
- ・(卒業生として)自分が通っていた頃の学校のイメージで息子2人を入学させたが、全くイメージが変わっていた。学校に来ることが多いが、多くの生徒があいさつしてくれる。そして他校に行っていたらできない(と思われる)生徒会役員を経験できたことは子どもにとってよかった。中高一貫校になるということで母校がなくなることもうれしく思う。